



# 渡島地方本部ニュース

第3号

【発行】  
自治労渡島地方本部  
執行委員長 川村 哲也  
〒041-0806  
函館市美原 4-6-16  
TEL 0138-34-2357  
FAX 0138-34-2358

7月28日、全国学校集会（28～30）を函館市にて開催しました。自治労本部・軍司副中央執行委員長のあいさつ、来賓あいさつを受け、本部より基調提起をする。パネルディスカッションでは「新たな技能職をめざして」と題して話し合われました。2日目は「明日のためにアクションプランをつくろう」「行政と地域・住民のインターフェースinく求められる公共サービスの担い手として」「誰もが求められている食育、その現実のために」「必須！学校給食法、給食衛生管理基準をどう守るか」「組織化から給食職場での仕事の改革とそこで働く臨時非常勤労働者の組織化の意義と必要性」「学校安全・県本部代表者分科会」「ヒヤリ！ハット！あなたのまわりは危険だらけ、安全で快適な職場環境にむけて」それぞれ、7つの分科会に分かれ学習を深めました。



学校フェアで、 廃材を使い、参加者と協同作業する、用務員さん。

3日目は「災害時の対応について」「2013年以降の自治労運動」「組織強化・拡大にむけて」の3講演を受けて、本部のまとめとして集会宣言（案）が採択され、今学校集会を閉会しました。全国から参加された組合員の皆さん、お疲れさまでした。また、実行委員の皆さん、函館市職労の皆さん、ご苦労さまでした、感謝申し上げます。

自治労第52回全国学校集会（28～30日）  
全国から約800人の参加



第2分科会「行政と地域・住民のインターフェースin学校フェア」では、地場産原料と学校給食についてマルキチ食品（株）金子宏道さんを講師に招き「生活地域の良い食材を活用して」と題して講演して頂く。  
金子さんは、子ども達においしく、安全な食べ物食べて頂きたい。そして、学校給食の時間は楽しい、おいしいと思うことが大切である。また、地元の人間として、地域の子ども達のために、おいしい地域の食材をほかの方々と共有化して行きたい。と食の安全と大切さを教えて頂きました。

笹田浩道議会議員、渡島管内をオルグ

各地元の地域課題を傾聴

7月25日～27日にかけて笹田道議は木古内町、知内町、福島町、松前町、鹿部町、七飯町、森町を訪問し町長や町職員、町議のみなさんと意見交換をさせて頂きました。また、地域の方々とお会いし、農協さん、漁協さん、商工会さん、農家さん、漁師さんなどからも地域それぞれの課題を傾聴。西部4町の主産業である農業、漁業、加工业等の課題について、また、福島町では廃棄物再処理センター建設の問題や、森町ではホタテ養殖施設災害復旧の補助率変更の内容について、副町長さん、担当課長らと意見交換をさせて頂きました。この度、オルグに同行して頂きました各OBの諸先輩に大変お世話になり感謝申し上げます。また、秋口にお邪魔します。



新幹線駅舎建設現場（木古内）



昆布漁最盛期（小谷石漁協）



第1回女性協議会幹事会の様子

7月19日に北斗市かなでーるで、渡島地方本部第1回女性協議会幹事会を開催しました。道本部・上島女性部長からは女性協議会は基本組織の枠組みで活動して頂きたい。今後、人勸の廃止にともない、各単組や各地本の状況を今まで以上に把握して、女性が働きやすい環境作りを基本に運動して頂きたいと冒頭にあいさつをうけた。新たに発足したこともあり自己紹介をしました。協議事項では幹事会体制について、今後の取り組みについて話し合わせ、一定の方向性が見えました。今後の活動を楽しみにして下さい。

ちほんのうごき

- 8月 5日～8日 第45回全道自治体職員等野球選手権全道優勝大会（函館市・北斗市）
- 8月10日 食と環境まつり第2回実行委員会（函館市）
- 8月19日 拡大闘争委員会（札幌市自治労）
- 8月24日～26日 自治労第83回定期大会（長野県）
- 9月 2日～4日 アクティブコース（札幌市自治労）
- 9月 3日 道南医療ナースアクション（せたな町）
- はこだてエコフェスタ2011（函館市）